

2024年度 第3回
一般社団法人 日本学生卓球連盟 理事会
議事録

- 1、 会議名 2024年度 第3回 一般社団法人 日本学生卓球連盟 理事会
- 2、 日 時 2024年10月28日(月)15:00～16:20
- 3、 場 所 所沢市民体育館 第1会議室
〒359-0042 埼玉県所沢市並木5丁目3番地 TEL 04-2991-1181
- 4、 方 法 現地出席 または WEB（電磁的方法）による。
- 5、 出席者 (WEB参加者も含む)
- | | | | | |
|-------|-------|--------|-------|-------|
| 中村 守孝 | 高島 規郎 | 牛山 幸彦 | 大元 司 | 葛西 順一 |
| 板垣 賢一 | 鄭 泰應 | 中村 秀樹 | 長崎 隆志 | 米塚 雅弘 |
| 小野 誠治 | 藤倉 健太 | 久保 陽 | 野村 智宏 | 岡野 鉄平 |
| 山本登志弘 | 本間 雅人 | | | |
| 米田 裕哉 | 山崎 響己 | 五十嵐みゆき | 竹内 優斗 | 眞木七夕佳 |
| 萩 一真 | 古村 和也 | 木村 清雅 | 池田 直生 | 宇都宮真弥 |
| 上田 隼輝 | 三嶋 哲平 | 中村 光 | 宮本皓志郎 | 吉田 惇平 |
| 澁谷 拓海 | 折手 勇斗 | 藤木 健太 | 伊藤 理紗 | |
- 監 事 鈴木 達也 中嶋 常夫
- 欠席者 峯山 健一 池田由美子 江尻 雄一 野嶋 仁志 狩野 棒汰
前田 航希

◎中村会長より開会の挨拶があり、皆さまご多用のなか参加いただいた事への感謝を示し、本理事会の議長に、板垣理事長を指名した。

◎板垣理事長より本理事会の新定足数42名中、出席者36名(web含む)、欠席者6名、従って定款第37条～39条により、本理事会が成立することを確認した。また議事録署名人として、久保陽常任理事、山本登志弘常任理事、眞木七夕佳常任幹事を指名した。さらに定款第43条より議長の板垣賢一理事長、監事の鈴木達也氏、中嶋常夫氏に、署名若しくは記名押印していただくことを確認した。

6、議題

【報告事項】

- ①第93回全日本大学総合卓球選手権大会(団体の部) 実施報告
- ②日学連震災水害復興支援講習会 実施報告
- ③第90回全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部) 状況報告
- ④2024韓国・日本大学生卓球交流戦 準備状況報告
- ⑤第20回全日本学生選抜卓球選手権大会 準備状況報告
- ⑥2024日本・ポーランド女子学生選抜卓球交流事業 準備状況報告
- ⑦2025FISUワールドユニバーシティゲームズ・ライン-ルール(ドイツ) 準備状況
- ⑧各委員会報告
- ⑨JTТА関係報告

【協議事項】

- ①2025年度事業計画
- ②2025ドイツユニバに向けた取り組みについて
- ③2026年度事業計画
- ④法人化に伴う、法務・会計事務所との契約について
- ⑤その他

【報告事項】

①第93回全日本大学総合卓球選手権大会(団体の部) 実施報告

- ・2024年7月4日(木)～7日(日)
- ・大阪府堺市立大浜体育館(大浜だいしんアリーナ)
- ・優勝校・男子-愛知工業大学(10回目)、女子-筑波大学(初優勝)
- ・結果詳細は、『関西学生卓球連盟ホームページ』参照
- ・主管関西学連の木村幹事長より、ご協力・ご指導に対するお礼の言葉があった。

②日学連震災水害復興支援講習会 実施報告

- ・板垣理事長、鄭強化委員長、米田幹事長より報告。
- ・熊本県人吉地区にて、10月12日(土)嘉島町、10月13日(日)多良木町にて開催。
- ・指導者には、鄭泰應副理事長(強化委員長)と池田由美子常任理事(強化委員)が対応。
- ・トレーナーとして日学連登録選手、男子・平賀(明治大学)、泊(日本体育大学)
女子・佐藤(東洋大学)、吉松(中央大学)が、参加していただいて盛り上げていただいた。
- ・地元の小中学生も喜んでいただき大盛況であった。
- ・熊本県卓の加藤理事長、高木珠江副会長、高木誠也副理事長、秋山員儀人吉市卓会長、および、日本卓球株の皆さんに大変お世話になりました。

③第90回全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部) 実施報告

- ・10月28日(月)～31日(木) 埼玉県 所沢市民体育館にて開催。
- ・昨年度から最優秀新人選手賞として、日学連よりシチズン時計(株)製腕時計を贈呈している。
- ・また、全日本学生チャンピオン会より、今孝賞としてシチズン時計(株)製腕時計を贈呈する。
- ・10/28(月)開催の本理事会において、男女シングルの優勝者が、2025ユニバ/ライン・ルールの日本代表候補選手とすることを正式承認し翌日公開した。
- ・主管関東学連の眞木幹事長より、最後まで一生懸命がんばりますので、ご指導方よろしく
お願いします。と抱負とお願いがあった。

④2024韓国・日本大学生卓球交流戦 準備状況

- ・11月6日(水)～10日(日)韓国済州道西帰浦市にて開催。
- ・男女、各々6名参加。
男子・泊(日本体育大学)、手塚(明治大学)、三浦(筑波大学)、青山(中央大学)、
中村(愛知工業大学)、加山(日本大学)
女子・出澤(専修大学)、枝廣(中央大学)、青井(筑波大学)、吉井(同志社大学)
牧野(筑波大学)、首藤(専修大学)
・鄭副理事長より、代表選手としてしっかりと社会人としての振る舞いを期待して、選手には思いが伝わるよう指導していきたいと抱負を述べた。

⑤第20回全日本学生選抜卓球選手権大会 準備状況報告

- ・11月22日(金)～24日(日) 新潟県 新潟市東総合スポーツセンター
- ・主管の北信越学連の萩幹事長より、鋭意準備を勧めている段階です。開催まであと僅かですが、引き続きご指導をよろしくおねがいします。と抱負とお願いを述べた。

⑥2024日本・ポーランド女子学生選抜卓球交流事業 準備状況報告

- ・12月4日(水)～9日(月)にて来日、5日-早稲田大学、6日-大正大学にて交流戦開催。
- ・選手選考に苦慮。
- ・板垣理事長より、JOCの依頼もある交流につき、交流戦のみならず国際交流についても、十分な配慮をして対応するよう準備しています。と報告。

⑦2025FISUワールドユニバーシティゲームズ・ラインルール(ドイツ)準備状況

- ・鄭副理事長より、選手・スタッフ選考基準を説明があり
- ・選手選考基準 ➡ JTТАと取りまとめ ～ 別紙参照

別紙⑦ ドイツユニバ要項

⑧各委員会報告

- ・組み合わせ委員会
 - ➡ 9月21日 現地&WEBにて実施
- ・中村副理事長、藤倉常任理事立ち会い(WEB、恒川委員の進行により順調に執り行われた、との報告。

⑨JTТА関係報告

- ➡板垣理事長より報告
- ・2028ロス五輪までのナショナルチーム卓球ウェアについて、入札の結果、男女合わせて5億円にて、株式会社タマスが落札。
- ➡葛西副会長より、昨今のスポーツ団体関係団体による「パワハラ」「暴力」「博打」「不倫」等々、窓口に届けられる件数が増えている状況を説明。一般の会社でも「内部統制」「コンプライアンス」遵守等叫ばれて、かつてのように「軽く行こうか」が通用しない、まさに世知辛い世の中になった感は否めないが、守ることの重要さは認識されていることと思う。
- ・(公財)日本スポーツ協会も緊急の課題としてとりあげ、各NFに厳格な指示を出しその大きな流れは方向性であり誰も止めることはできない。逆行すれば直ちに排除されてしまう。コンプライアンスとintegrity「誠実」「真摯」「高潔」により、私達の加盟校の皆さんも、スタートコーチ資格取得講習を受講し、コンプライアンス・integrity講習会を受講するようお願いしたい。と熱く語られた。

【協議事項】

①2025年度事業計画

- ・現在のところ、別紙の通り計画。
- ・最重要の事業として、ドイツユニバを控え、選考会も含め可能な限りの準備をしたい。
- ・候補選手が決まり次第、WTTプロツアーに派遣し、ワールドランキングを得たい、なんとか決勝で中国と対戦する状況をつくるため、対応していく方針。(板垣理事長、鄭副理事長)
- ・高体連との合同強化事業は一昨年同様、日本リーグも参加、4/11～13 NTC開催決定(2/末決定)
- ・復興支援講習会は、10年前の夏、2014年8月20日広島市北部の安佐北区、安佐南区の住宅地を一瞬にして呑み、関連死と合わせ 153名の命を奪った『広島市』での開催を準備中。(板垣理事長)
- ・日韓は、日本開催(羽田)8/13 or 14出迎えほぼ確定。東京開催濃厚。(板垣理事長)
- ・ポーランドは、大会日程が対応可能で、JOCからの依頼があれば検討する。(＋中国・韓国参加等)

別紙④ 2025年度事業計画

②2025ドイツユニバに向けた取り組みについて

- ・卓球競技 2025年7月17日～24日
- ・実施要項—現段階の要項を示す。
- ・鄭副理事長より、代表選手選考会も含め、一昨年より好成績を残すため、準備を進めていきたいとの考えを示した事に対し、板垣理事長より、ワールドランキング獲得のため、WTTプロツアー等、JTTA強化本部の協力を得ながら参加させていく方針を提案し、承認した。

別紙⑦ ドイツユニバ要項

③2026年度事業計画

- ・主要3大会の開催について—全国大会主管学連一覧表参照
- ・選抜大会は、北海道学連立候補 2026年11月20日(金)～22日(日)
- ・日韓交流は韓国開催
- ・その他

別紙⑧ 主管学連一覧表

④法人化に伴う、法務・会計事務所との契約について

- ➡板垣理事長より提案
- ・一般社団法人化に伴い、法的手続きや、立ち会いも含め、会計事務所等との、顧問契約をしたい。
- ・顧問料 月額 17,500円(一般的な料金の半額相当)＋手続き費用
- ➡提案のとおり承認。 2024年10月より契約

⑤その他

- ・日学連理事会において確認された事項まとめ

別紙⑩ 日学連理事会確認事項

別紙⑪ 2024年度理事会決定事項

以上

◎議事録署名人

久保 陽

板垣 賢一

山本 登志弘

鈴木 達也

眞木 七夕佳

中嶋 常夫

2024年 7月 6日

加盟校 各位

一般社団法人 日本学生卓球連盟

理事長 板垣 賢一
強化委員長 鄭 泰 應

7月4日開催の『第2回理事会』に決議された事項について

昨日開催された、第2回理事会で以下の事項が決議されました。該当者は責任を持った対応をお願いいたします。

記

- 1、第20回全日本学生選抜卓球選手権大会、への 11月22日(金)～24日(土)
①推薦出場権の承認 新潟市東スポーツセンター
・2024年度日学連・高体連合同強化事業 全体順位3位以内の者
【男子】 1位 手塚峻馬(明治大学) 3位 三浦裕大(筑波大学)
【女子】 1位 青井さくら(筑波大学) 2位 木塚陽菜(神戸松蔭女子学院大学)
3位 岡田琴菜(愛知工業大学)
※以上、男子2名、女子3名の5名を、出場権獲得 ⇒承認(報告)
- ②これまで前年度ランキング保持者が参加することができなかったが、事業実施細則を改定し、前年度大会ベスト8以上の選手は、翌年の参加権を得ることを承認。
2024年7月4日 ⇒事業実施細則改定により、本年開催の第19回新潟選抜大会より適用する。
【男子】 1位 小林広夢(日本大学) 3位 岡野俊介(朝日大学)
4位 松田歩真(明治大学) BEST8 泊航太(日本体育大学)
BEST8 伊藤礼博(日本大学)
【女子】 1位 出澤杏佳(専修大学) 2位 面田采巳(愛知工業大学)
4位 木塚陽菜(神戸松蔭女子学院大学) ※重複該当
BEST8 浅田真奈(朝日大学) BEST8 岡田琴菜(愛知工業大学) ※重複該当
※以上男子5名、女子5名(2名重複)は、本年度開催の全日学選抜の参加権を得ることを承認。
- 2、2024韓国・日本大学生卓球交流戦、への 11/6(水)～10日(日) 韓国・濟州島
①選手選考基準 (男女各6名選出) (11/5前泊より)
1)第89回全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部/シングルス)優勝者
【男子】岡野俊介(朝日大学)
【女子】出澤杏佳(専修大学)
2)第19回全日本学生選抜卓球選手権大会優勝者
【男子】小林広夢(日本大学)
【女子】出澤杏佳(専修大学) ※重複該当

3)2024年度日学連・高体連合同強化事業 全体順位優勝者

【男子】手塚峻馬(明治大学)

【女子】青井さくら(筑波大学)

4)第93回全日本大学総合卓球選手権大会(団体の部)優勝チームより1名

5)第93回全日本大学総合卓球選手権大会(団体の部)2位チームより1名

6)第93回全日本大学総合卓球選手権大会(団体の部)3位チームより1名

7)第93回全日本大学総合卓球選手権大会(団体の部)4位チームより1名(女子重複のため)

※以上、男女各々6名選考する。

3、2024ポーランド女子大学生選抜との国際交流事業 12月6日(水)～10日(日) 東京近郊予定

1)第90回全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部)シングルス優勝者～4位までの選手を選出する。

※その他、開催地代表選手4名も選出する場合もある。

4、FISUユニバーシティーゲームズ2025ドイツ・ライン＝ルール 7月16日(水)～26日(日)

※代表選手選考基準 (別紙参照)

⇒JTTA強化本部にて確認作業中。

以上

①日学連関係報告

1)2024年度主催大会の使用球について

⇒以下のとおり承認

堺インカレ	所沢全日学	新潟選抜
VICTAS	タマス	Nittaku

2)主催3大会の「主管費」の見直しについて

⇒以下のとおり承認

	インカレ	全日学	選抜
◎現行	1,500,000-	2,000,000-	1,300,000-
◎決定	1,800,000-	1,800,000-	1,400,000-

※2024年度から実施することを承認

3)通信制大学生の登録可否について

⇒以下のとおり承認 ※規約への文書については、再度委員会でまとめることとする。

- ・基本的に文部科学省が認める「通信制大学生」は登録を認める。
- ・ただし登録する大学において卓球部員としての活動実績があること、
- ・また居住地と卓球部の活動所在地が遠距離の場合、基本的に9支部の範囲内で在り且つ部活動参加が可能と認められる者、或いは9支部の範囲外であって、部活動参加が十分可能な場合は申請により認める場合もある。

⇒したがって、大会だけに参加するための登録は認めない。

- ・基本的に7月4日開催の第2回理事会で規約の改定とする。

4)選抜選手権大会の出場権の見直しについて

⇒当該大会前年度ベスト16の選手を(3～4名想定)を3段目の最上位から入れる。(案)

⇒基本的に前年度ベスト8までの推薦には異論がないが、色々な意見が有り、強化委員会で再度検討し、今年の選抜の要項に間に合うよう調整することとした。基本的に7月4日開催の第2回理事会で規約の改定とする。

⇒また、児玉名誉会長より発言要望があり認め、根本的に選抜大会の在り方自体を見直すときが来ているのではないかと、との意見をいただいた。

5)飛び級の留学生の登録について

⇒関西学連の阪南大学へ入学した、中国からの留学生「劉騰予(リュウトウヨ)」さん、この3月 明德義塾高校を卒業した17歳について、阪南大学が日卓協登録しようと「JTТА PARK」した際、日学連は第2種で年齢のみとなる制御を行っているためNGとなったためJTТАより日学連に連絡があり、関西学連も含め検討し、飛び級も1年だけであること、規約でも下限年齢制限は無いため、JTТА総務部と共通認識のなかで登録を許可することにしました。関西学連、JTТАとも異論はなく板垣理事長が判断し対応済みです。

今後、同様な飛び級の登録希望者があった場合も、個別案件として調査し可否を判断する。

以上